洗 think

SEN-
THINK
OKUMURA

非効率を考える。

vol.01

Spring

2020.04.05

クリーンショップ おくむら

特集：いいことを知る

非効率でないと出来ないことがあると思うんです。

木村石鹸工業株式会社
代表取締役社長　木村　祥一郎さん

大正13年創業。家庭用洗剤や業務用洗剤など、私たちの暮らしに欠かせない「石鹸」製品を製造している木村石鹸工業株式会社。創業から90年以上経った現在も職人の手による釜焚製法での石鹸製法を続ける。ある意味「非効率」な現場を守り続ける同社を訪ねました。

あらゆる洗剤の素になる乾燥させた石鹸。乾燥期間中は釜焚きの工程もストップさせて仕上がりを待つのだとか。

木村社長が企画した「SOMALI（そまり）」と、先代が開発した製品をリデザインした「KIMURA SOAP'S CRAFTSMANSHIP」。親子がつくり上げた商品が会社の顔となっています。

手間も労力もかかるけれど、これからもつくり方は変えません。

木村石鹸工業株式会社
代表取締役社長　木村　祥一郎さん

「俺は、石鹸焚かせたら日本一や」と豪語していた父から会社を受け継ぎ、現在、4代目を務める木村祥一郎さん。
職人による手作業での製品づくりにこだわる同社において、OEM中心から脱却し、天然素材のみでつくったハウスケア&ボディケアブランド「SOMALI（そまり）」や、洗浄力に特化した「KIMURA SOAP'S CRAFTSMANSHIP」等の自社ブランドを立ち上げ、新しいストーリーを紡ぎ始めています。そこには、本当にいいものをつくりたいという、同社のDNAが脈々と息づいているようです。

「釜焚き10年と言われるほどに、職人の勘と経験が大切です。油脂にアルカリを加えて石鹸をつくるのですが、気候や油脂の種類など条件によって出来に差が生じてしまいます。職人は、視覚や嗅覚で様子を感じ、釜をかき混ぜる手に伝わる感覚を頼りに加減を調整します。アルカリの強弱は製造中の石鹸を舐めて判断することもあるんです」。焚き上げた石鹸は、約1週間乾燥させて粉末状にし、家庭用や工業用洗剤としてそれぞれの仕様に仕上げるのだそう。手間と時間のかかる工程は、お世辞にも効率の良い製造方法とは言えません。それでも、このつくり方にこだわるのは、石鹸が持つ力を大切に考えているから。

現社長が就任する以前は、OEMが中心だった同社ですが、2014年に台所用石けんや洗濯用液体石けん、ハンドソープなどを扱う自社ブランドを立ち上げました。石鹸が持つ魅力を広く発信し『汚れはしっかりと取れるのに、手肌や環境にも優しい』とたちまち話題に。「職人の絶妙な配合加減によって洗浄力と安全性、使い心地のバランスが取れた製品に仕上がります。これまで私たちが培ってきた〝非効率〟な経験と技術がブランドの基礎になっています。たくさんの嬉しい声をいただきますが、手作業だけに一度につくれる量は少し。それでも、つくり方は変えずに品質の良いものを届けていきたいと思います」。

木村社長とクリーンショップおくむら・奥村香理社長。「洗う」という共通のテーマから新しいコラボが生まれる予感も。

おくむらの人

着ることで気分が変わる とても大切なものなんです。

おくむらのワイシャツクリーニング

クリーンショップおくむらの全13店舗から工場に集まってくるワイシャツは1日約400枚。機械的な作業に終始することなく、一枚ずつ職人が仕上がりを確認してお客様の元へ届けています。その理由を職人はこう話します。「着心地とか仕上がりで仕事へのモチベーションが変わるでしょう。勝負服やから、ちゃんとせなあかんのです」。おくむらの「人」たちが大切にする仕事の現場を紹介します。

クリーンショップおくむらで洗濯したワイシャツは、おろし立てのような見た目と肌触りが特徴です。これは、長年の試行錯誤により完成させた独自配合の洗剤によるもので、天然のタピオカ澱粉や加工材を加え、ふんわり自然な風合いとともにハリ感をつくり出しています。気になる皮脂汚れは、温水で二度洗いすることでしっかりとリセットします。同時に防臭と抗菌の加工を施し、嫌な匂いを残さないようにしているのもこだわりの一つです。

また、お客様のオーダーに応じて、襟とカフスに糊付けをしたり、包装前の点検でシワがある場合は選別して、アイロンをかけ直したり。職人の目と技術がおくむらの高い品質を支えています。

洗いの工程では機械力を使い、プレスから後は人の手によって仕上げます。
最後はハンガーに吊るして汚れやシワがないかを1点1点確認しています。

おくむらの「いいこと」

きちんと”プロの洗濯業”

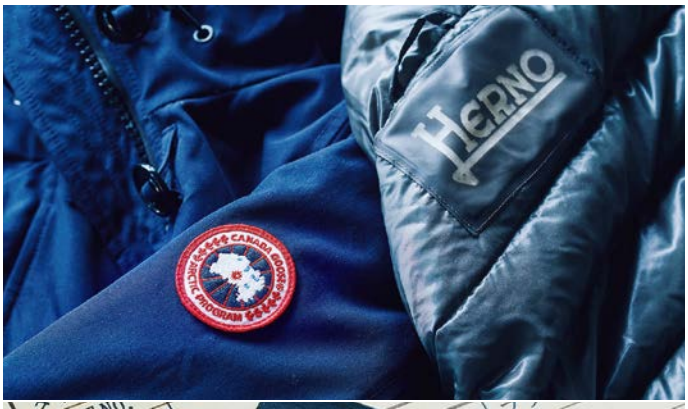
おくむらのクリーニング料金は、もしかするとちょっと高いかもしれません。それは、創業当時から守ってきた「洗濯業をちゃんとやっていきたい」という思いがあるからです。コストを下げるために時間を短縮したり、使用する材料の質を落とすことはありません。洗剤や溶剤は着る人や環境に優しい独自開発のものを使い、職人が1着ずつ体に添うように手をかけて仕上げます。プロにしかできない仕事で、最高の着心地をつくり続けています。

いいものは、いい技術で。

おくむらの「高級ダウンクリーニング」

大切に長く着たい高級ダウン。おくむらでは1着ずつ素材や形状にあったクリーニングを施します。水洗い、乾燥を終えたダウンは形を崩さないよう、厚身のあるハンガーに掛け、通気性があり保管に最適なカバーで包装。「高級ダウンメンテナンスカルテ」を付けてお客様へ届けています。クリーニングには、シーズン終わりのタイミングで出すのがベスト。きれいになった状態で保存し、次のシーズンを迎えてください。

取り扱い実績

DUVETICA、MONCLER、HERNO、COACH、MooRER、CANADA GOOSE、EMILIOPUCCI、EMMETI、TATRAS、PRADA、BURBERRY、WOOLRICH、STONE ISLAND、水沢DOWN、PEUTEREY、PHD、BELSTAFF、THE MONSTER SPEC、wjk、Supreme

高級ダウンクリーニング
をさらに詳しく